

環境配慮個票

事業名	農業水路等防災減災事業	地区名	土佐山田	受益面積	7.0ha
関係市町村名	香美市	予定工期	令和7年度～令和8年度		
総事業費	18,000千円	R7年度以降事業量		18,000千円	
総事業量	ため池 2池 水路工 L=200m	R7年度以降事業量		水路工 L=200m	
マスタープランの区分	環境配慮区間	自然公園等の指定		無	
既存資料による希少種の情報の有無		無			
周辺の環境	本町は、高知県東北部に位置し、町の総面積は538㎏で、そのうち約9割が山林を占める。地形は、概ね1,000mから1,800mの高峰が周囲にそびえることから急峻で、棚田、集落が広範囲に点在している。 本地区は四国山地三嶺から高知平野に至る物部川中流域に位置し、年間を通じて温暖多雨で農産物の生産に適し、周辺には耕作地が広がっている。				
地区の環境の特性	・概要 北の池は護岸にコンクリートブロックが配置され、上面は遊歩道として活用されている。周辺はハチク林・広葉樹林が分布し、下流側は耕作地として利用されている。池内は水深浅くミゾソバ群落に広く覆われ、部分的にガマ群落やボントクダテ群落が分布している。ツエケ谷周辺はモウソウチク林、スギ・ヒノキ植林、シイ・カシ二次林が分布し、池内に植物群落はなく、堤体は先駆性低木林、下流側は放棄耕作地でススキ等が生育している。 <北の池> ・植物 確認された植物は、37目74科189種であった。 希少種は、〇〇〇（環境省：準絶滅危惧）、1種を確認された。 ・動物 確認された動物は、2綱3目6科8種であった。 希少種は〇〇〇（環境省：準絶滅危惧、高知県：注目種）、〇〇〇（環境省：準絶滅危惧）の2種確認された。				

<ツエケ谷池>

・植物

確認された植物は、34 目 71 科 187 種であった。

希少種は、〇〇〇（高知県：絶滅危惧ⅠB類）、1 種を確認された。

・動物

確認された動物は、2 綱 4 目 6 科 7 種であった。

希少種は〇〇〇（環境省：準絶滅危惧、高知県：注目種）、〇〇〇（環境省：準絶滅危惧）

〇〇〇（環境省：準絶滅危惧、高知県：注目種）の 3 種確認された。

・その他

調査時に藻類である〇〇〇（環境省：絶滅危惧Ⅱ類）、1 種が確認された。

配 慮 す べ き 事 項

①希少な動植物への配慮

②動物の移動経路の確保

③両ため池に関する工事施工時期

配 慮 方 針

① 植物については、工事実施前に生育地の類似環境を探し、移植などの措置を講ずる。また、生物については、工事実施の際に工事の影響がない生息適地に移動させる措置を講ずる。

② 動物については、移動を阻害しないように、水路構造等を工夫する。

③ 今回、両ため池にて〇〇〇及び〇〇〇が確認された。そのため、産卵期～幼生期にあたる 4 月～9 月を避けて工事を実施することが望ましい。